

Photo Album 2021.2.1.

2021 春の足音

須磨梅林でもうすぐ 春ですね
2月の初め 神戸須磨界限
毎日walkの一コマ ほっと一息

も





久しぶりに西神戸の田園を歩くと
春の足音 菜の花が咲き始めました
西神井吹台の丘で 2021.1.28.



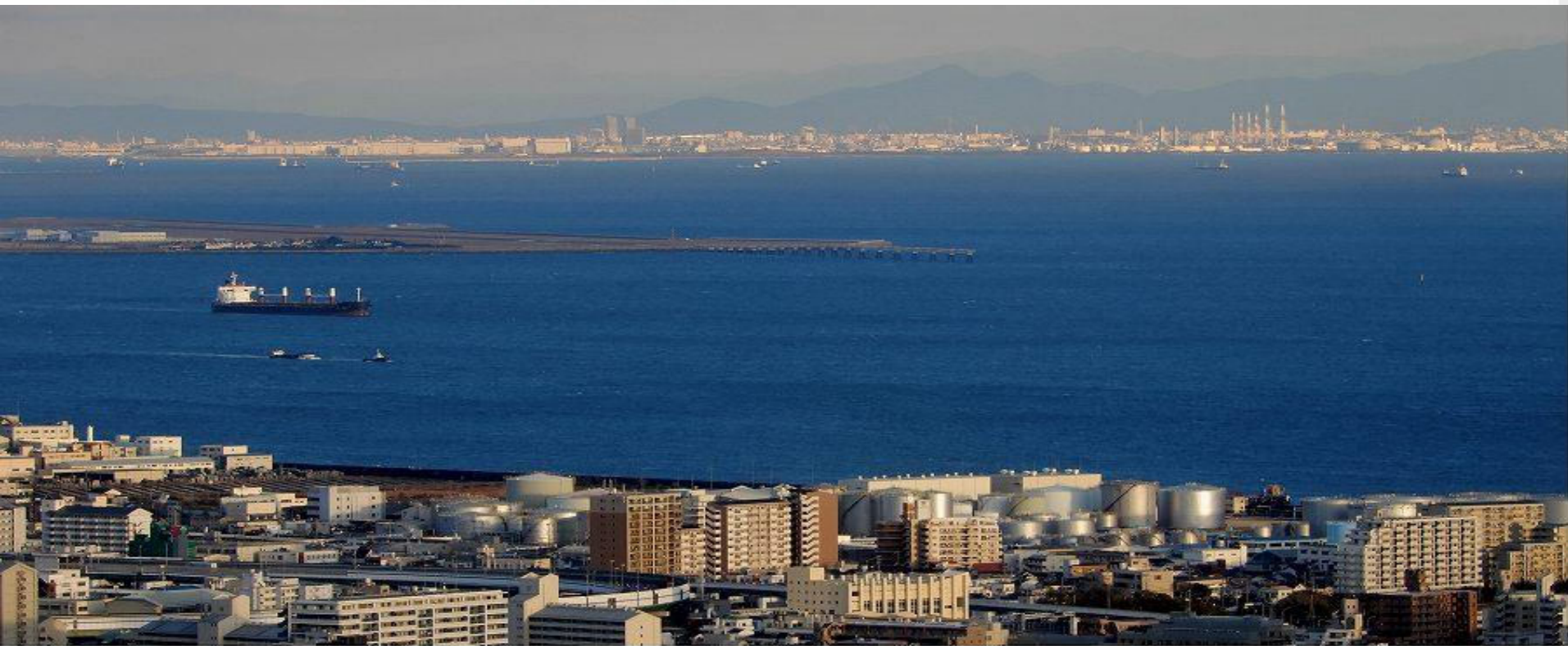


家の角先には サクラソウも咲き始めています
2021.1.28.

年の初め こんなに澄んで大阪湾遠望が一望
コロナもこのまま終息と期待したのですが...



大阪湾岸遠望 神戸の市街地の向こう 南北に長くのびる生駒山を背に 2021.1.6.夕
大阪湾岸に広がる大阪の港・街遠望



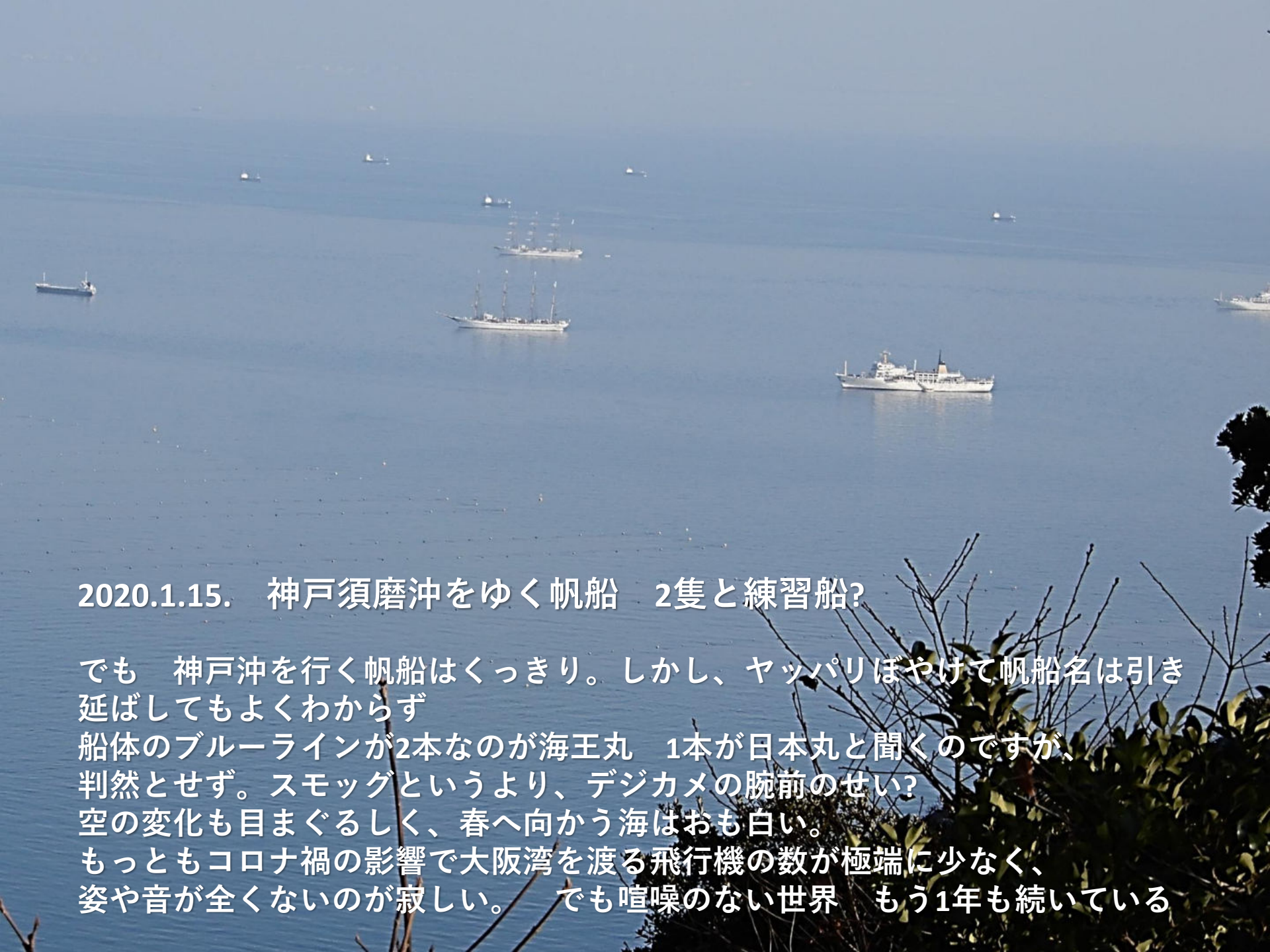
須磨 西六甲縦走路から眺める大阪湾遠望 2021.1.6.夕 中央 二上山がしっかり目視できました
二上山の背後に近畿の屋根 奥吉野から紀伊山地の山並が浮かぶ素晴らしい景色 山の特定はようしません



播磨灘に浮かぶ家島群島 男鹿島の上 飛行機雲 2021.6.27



2020.1.15. 神戸の街はくっきり
でも明石海峡や大阪湾沿岸はかすんでいる
まだ 1月というのにスモッグと黄砂の影響だと



2020.1.15. 神戸須磨沖をゆく帆船 2隻と練習船?

でも 神戸沖に行く帆船はくっきり。しかし、ヤッパリぼやけて帆船名は引き延ばしてもよくわからず
船体のブルーラインが2本なのが海王丸 1本が日本丸と聞くのですが、
判然とせず。スモッグというより、デジカメの腕前のせい?
空の変化も目まぐるしく、春へ向かう海はおも白い。
もっともコロナ禍の影響で大阪湾を渡る飛行機の数が極端に少なく、
姿や音が全くないのが寂しい。 でも喧噪のない世界 もう1年も続いている



2020.1.15. 神戸須磨沖をゆく帆船 2隻 日本丸と海王丸か?



1月20日 須磨寺の「お大師さん」へ





1月20・21日は須磨寺のお大師さんでもコロナでいつも程ではないがみんな出てきている。マスクして、いっときの息抜き。生すだち・須磨のり・ひものを目当てに今日のwalk。阪神間では「お大師さん」京都では「弘法さん」。



帰りは1日遅れで 摂播国境の多井畑厄神にお参りして厄払い
2021.11.20.



久し振りに西神戸の田園を歩くと
春の足音 菜の花が咲き始めました
西神井吹台の丘で 2021.1.28.



2021.1.29.須磨離宮公園が再開
なにもないのですが、何とはなしに
心地よい



2021.1.29.須磨離宮公園の足元で水仙が満開の梅林で
つぼみを一杯付けた枝で花が咲き始めていました



須磨離宮公園 咲き始めた梅 2021.1.29.



須磨離宮公園 咲き始めた梅

2021.1.29.



須磨離宮公園 咲き始めた梅

2021.1.29.



須磨離宮公園 花が咲き始めた梅林



須磨離宮公園の蛭梅



須磨離宮公園の蟬梅 2021.1.29.



須磨離宮公園の蠟梅
いつも蠟梅の咲き切った花の写真はうまく取れず
蠟梅の花に怒られそうですが、
まだ花弁がつぼみの状態のほうがきれいだ



蠟梅野の咲く一番下から見上げる梅林 2021.1.29.
どこからともなく野鳥のさえずりが聞こえ、春近し



離宮公園梅林から眺める摩耶山 2020.1.29.
摩耶山の背後に六甲山・お多福山が重なって見えている
須磨 春一番の到来です



離宮公園の温室は一足先にもう春に
2021.1.29.



須磨離宮公園 咲き始めた梅

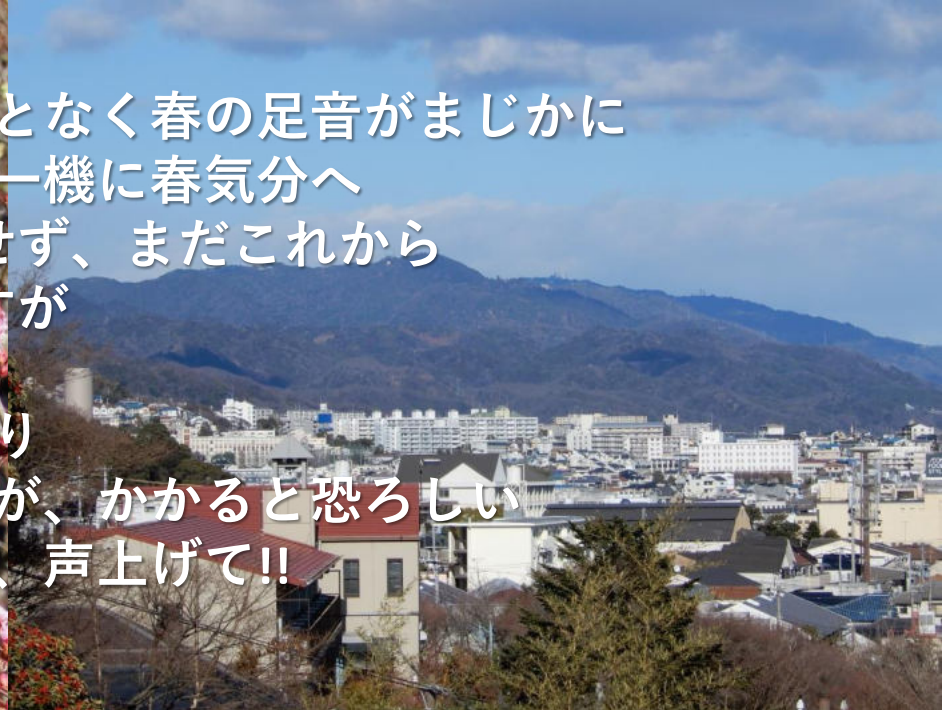
2021.1.29.



須磨離宮公園で梅が咲きだすとなんともなく春の足音がまじかに
立春そして春の確定申告が終わると一機に春気分へ
今年は コロナが1年たっても終息せず、まだこれから
何とはなしに晴れ晴れしない2月ですが
明るい春の花に心癒され、春迎え
コロナの終息へ 今は無理せず家籠り
年寄りには本当に厳しい家籠りですが、かかると恐ろしい
感度を挙げて、体調変化は我慢せず、声上げて!!
我が身大切に God be with You!!
もうすぐ 春～ですね!!

2021.2.1. 2月を迎えて

From Kobe Mutsu akanishi





この2月を元気に!!
我慢せず 声出して!!

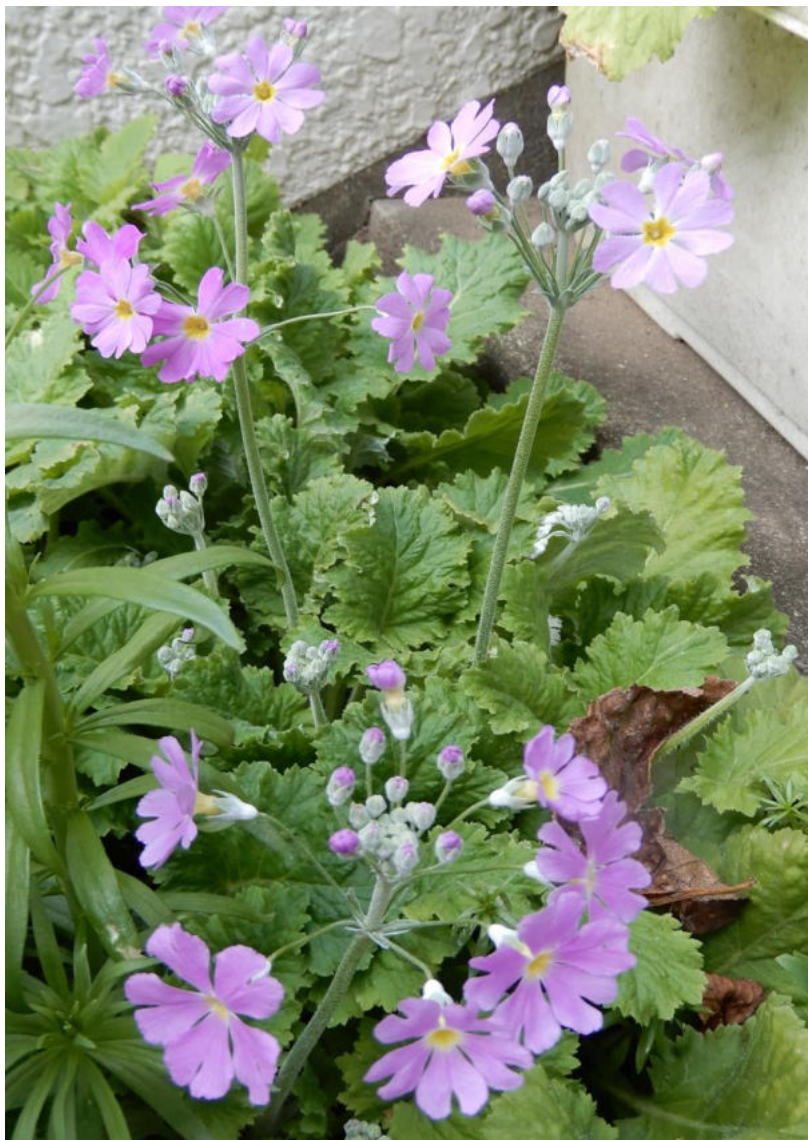


福寿草2021

再会を楽しみに!!



春の足音 菜の花が咲き始めました
西神井吹台の丘で 2021.1.28.



毎年の節分行事 鬼踊り・追儼式の鬼がないのは寂しく、2月のHome page には前に作成した神戸の鬼踊りなど節分の鬼行事の「鬼」など 節分の鬼を中心に構成作業中です。 コロナ終息はみんなの願い がんばりましょう!!



2021.2.1. From Kobe Mutsu Nakanishi

